

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏 郎
幹 事 加藤 昭 治
メディア委員長 西田 重 人

「連：つらなる」

第1503回例会

平成28年1月19日(火) 於 (株)土谷特殊農機具製作所

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016 年度

国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016 年度国際ロータリー会長

K . R . ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

東 堂 明

月間テーマ

【平和と紛争予防 / 紛争解決月間】

◎起 立 古川直也 副 S A A
◎友情の握手 古川直也 副 S A A
◎点 鐘 上野敏郎 会 長
◎開 会 宣 言 古川直也 副 S A A



ゲスト紹介

上野敏郎 会長

株式会社 土谷特殊農機具製作所
代表取締役 土谷 紀明 様



会長挨拶

上野敏郎 会長

本日は、大雪の中、こんなに沢山集まっていたいてありがとうございます。なかなか体験できないプログラムを組んで頂きました。十勝農業を引っ張ってきたのは、農機具だと思います。そして、私の拙い記憶の中で、地元の農業機械の発明力が農業を作ってきたと思っています。十勝は、土谷さんをはじめ抜群だった訳です。そういう意味で、十勝農業がどんどん発展してまいりましたが、時代はそれだけではなかなか乗り切っていけない部分があります。その中、農業に関するさまざまな分野を更に開拓していくという見本を土谷特殊農機具製作所さんは見事に体現してくれていると思います。今日のお話を期待して拝見したいと思います。よろしくお願い致します。

ありがとうございました。



プログラム

職業奉仕委員会 加藤 雄樹 委員長

職業奉仕委員会
加藤 雄樹 委員長

(株)土谷特殊農機具製作所
代表取締役 土谷 紀明 様



本日は、大変お足下悪い中、お集まり頂き誠にありがとうございました。私ども、十勝に根をおろして83年になりました。創業が昭和8年で、昭和29年にここ工業団地へまいりました。他、拠点は、札幌、中標津、標茶、北見、興部となっております。昭和8年に、先代が帯広に牛乳輸送缶、搾乳バケツなどの牛乳容器を製造販売する「土谷製作所帯広工場」を開業したのが始まりです。

以来、酪農に特化し、溶融錫鍍金や亜鉛鍍金、プレス



金型や専用治工具を創意工夫により内作、時代に即した商品を良質・低廉をモットーに商品化し営業を継続してきました。

当時から先代は「特許(実用新案)は模倣品を排除するためのアクセサリ」との考えで新たに商品化するものは、すべて知財権利化の方針で自社開発をしてきました。スタンション、ウォーターカップ、哺乳器は発売以来60年にわたるロングセラーとなっています。

グローバルな今日の技術、商品に対応するため、昭和45年、海外企業と技術提携、昭和50年には合併会社を設立、実績ある世界の確かな技術と最新の機器を直接導入してきました。導入技術により本道を中心に13年間で800本のコンクリートタワーサイロを建設しました。

現在、当社の主力商品は地域の特性と環境に適応した酪農トータルシステム(搾乳、哺乳、給飼、排せつ物処理)を設計、施工、メンテナンスの責任体制で海外企業との連携により販売しています。

新事業として北海道の地域特性と資源を利用した

1) バイオマスプラント

バイオマスプラントは、畜産農家の①家畜排せつ物由来の環境問題を解決し、②その消化液は良質有機肥料として循環農業を支えるばかりでなく、③発電電力を全量買取制度により売電が出来る環境が我が国も整いました。

2) アイスシェルター

アイスシェルターは、本道の冬の寒気と水の潜熱を利用し、CO₂削減に貢献する地産エネルギーです。

3) 完全制御型植物工場

4) 通年使用カーリング場

のオールインワン商品化推進しています。

主力商品と新商品を合わせた取得知財は共願を合わせ特許14、実用新案2、意匠2、商標12となっています。

エネルギーと食料問題、そして地球温暖化効果ガスの削減意識の高まりと、「再生可能エネルギー全量買取制度」により、これらの北海道市場環境に明るさが兆して来ました。

その、食料、自然エネルギーに関する取り組みは

- 1) 氷雪エネルギーをはじめとする地域の自然エネルギー資源を最大限活用する仕組みをつくり、農水産物の長期間全国出荷を目指す。
- 2) 地域で生産された農産物に付加価値を附与する取り組み。
 - ①直販所での直販販売
 - ②加工食品の開発
 - ③学校給食での利用
- 3) 6次産業化 地域資源を活用し、農工商が連携して新たな産業を創出する。

農水産物の加工、長・短期安定出荷のための地域資源を活用した低コスト施設と貯蔵・熟成技術

<寒冷気候>

自然エネルギー ⇄ アイスシェルター ⇄ 貯蔵熟成

<畜産排泄物、残渣>

再生可能エネルギー ⇄ バイオガスプラント ⇄ 発電事業

これからもグローバルな視点で、北海道資源を活用し、地域産業の活性化に貢献できますよう努力を続けてまいります。

本日は、大変ありがとうございました。



◎閉会宣言

◎点 鐘

古川直也 副S A A

上野敏郎 会 長

次週プログラム

プログラム委員会

1月26日(火) 「会社を守る就業規則」

講師 三井住友海上保険株式会社

札幌法人営業部 羽田 秀史 様